

短歌

【自由作品】

小松文芸賞

多田 一輝

土の香に陽ざしを浴びて堀りしいも両手に受けて秋をたしかむ

初ものの秋刀魚の焼けて脂のりパクツと口に今年は豊漁

こおろぎの声に気づけば風やさし行きつ戻りつ秋となりゆく